

平成26年度進行管理・評価シート
白河市歴史的風致維持向上計画（平成23年2月23日認定）
（最終変更平成26年3月31日）

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 歴史まちづくりの庁内連携・推進	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 都市計画の活用	2
2 景観計画の活用	3
3 屋外広告物について	4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 小峰城跡本丸・二の丸石垣修復事業(小峰城跡災害復旧事業)	5
2 歴史的まちなみ修景事業	6
3 歴史的風致形成建造物保存修景事業	7
4 無電柱化調査事業	8
5 無電柱化事業(主要地方道白河停車場線)	9
6 旧脇本陣柳屋旅館建造物群整備事業	10
7 屋外広告物景観影響調査事業	11
8 しらかわ歴史回廊事業	12
9 丹羽長重廟周辺整備事業	13
10 小南湖公園整備事業	14
11 都市計画道路一番町大工町線整備事業	15
12 都市計画道路乙姫桜プロムナード整備事業	16
13 無形民俗文化財活動記録作成事業	17
14 しらかわ無形民俗芸能等支援事業	18
15 白河歴史教科書作成事業	19
16 ぐるり白河文化遺産めぐり事業	20
17 白河の歴史 再発見！事業	21
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の修理(整備を含む)	22
2 文化財の保存・活用を行うための施設	23
3 文化財の防災	24
4 文化財の保存及び活用の普及・啓発	25
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 小峰城跡・白河駅周辺地区「都市景観部門」優秀賞	26
2 丹羽長重廟修復完了、石垣修復作業完了	27
⑥その他(様式1-6)		
1 白河まちなか歴史景観「蔵ウォーク」の開催、 景観まちづくりシンポジウムの開催	28
2 東北歴史まちづくりサミット2014の開催	29
3 広報紙での歴史と伝統を活かしたまちづくりの紹介	30

口法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	31
--------------------------------	-------	-----------

評価軸①-1 組織体制		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
歴史まちづくりの庁内連携・推進		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	平成22年度からまちづくり行政と文化財保護行政の一元的な展開を推進するため、建設部都市計画課内に「歴史まちづくり室」を設置、平成24年度には、建設部内に「都市政策室」を新設し、まちづくり(歴史まちづくり・景観・中心市街地活性化)、都市計画、文化財各部門の連携によるまちづくり推進体制を強化した。また、「庁内推進本部」を設置し、円滑かつ効果的な事業推進を図ることとした。さらには、「白河市歴史的風致維持向上計画協議会」をはじめ、都市計画審議会、景観審議会、文化財保護審議会などの協力や福島県など関係部局との調整を行い、計画の実現を図るものとする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史まちづくり事業の実施にあたっては、文化財課との協力・連携のもと事業を実施した。「白河市歴史的風致維持向上計画協議会」、「白河市歴史と伝統を活かしたまちづくり庁内推進本部会議」及び「調整会議」を開催し、計画の推進や事業の実施について協議を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
■歴史と伝統を活かしたまちづくり庁内推進本部・調整会議 (平成27年2月24日開催) ○協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度における計画及び事業の進捗 ・計画の変更 ・歴史的風致形成建造物の指定候補 ・平成27年度事業 			
		庁内推進本部会議	
■歴史的風致維持向上計画協議会 (平成27年2月25日開催) ○協議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度における計画及び事業の進捗 ・計画の変更 ・歴史的風致形成建造物の指定候補 ・平成27年度事業 			
		歴史的風致維持向上計画協議会	

評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	
都市計画の活用	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 都市計画道路の見直しにおいても歴史的町並みに配慮した計画及び整備を検討している。今後も、旧奥州街道や歴史的町並みに配慮した都市計画変更を検討する予定である。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

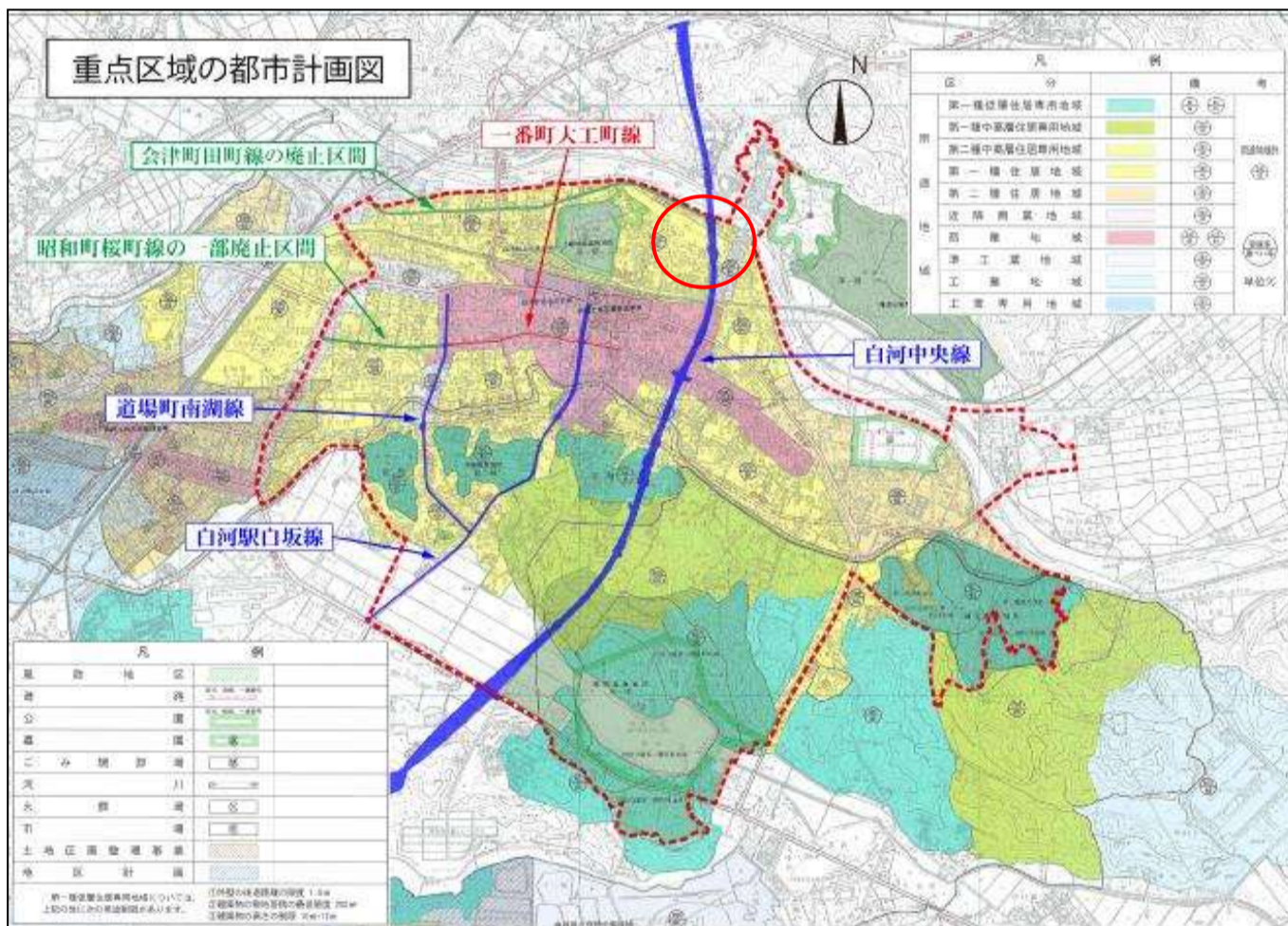
平成26年8月に都市計画道路白河中央線の都市計画変更を行い、国指定史跡小峰城跡の縦断を回避するルートに変更した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



○ 変更部分(一部)
※白河中央線は変更前のもの

評価軸②-2 重点区域における良好な景観を形成する施策		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
景観計画の活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	景観計画では、小峰城跡・白河駅周辺地区と南湖公園周辺地区については、景観計画重点区域に指定し、建築物等の形態意匠や色彩・高さなどについて景観形成基準を設けており、将来的には都市計画法の景観地区の指定を目指す方針である。また、城下町地区については、景観計画推進区域に指定し、建築物等の高さ等の景観形成基準を設け、景観協定の導入等、住民との協働によるルールづくりを積極的に進めることを目指す地区としている。 今後は、歴史的風致維持向上計画の重点区域と景観計画との整合を図るため、景観計画推進区域を当該重点区域まで拡大する方針である。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
景観条例及び景観計画に基づき、建築物や工作物等の新築、増改築等の行為に関して適正な規制及び誘導を行い、景観計画区域内の良好な景観形成に努めた。さらには、平成26年12月に計画を一部変更し、小峰城・白河駅周辺地区重点区域を拡大したほか、重点区域及び城下町地区重点推進区域を除く景観計画区域の建築物において、良好な景観形成に支障のない程度に限り、アクセントカラーの色彩基準を適用することとした。 ○平成26年度届出件数: 43件(重点区域 4件、推進区域 1件 景観計画区域(重点・推進区域を除く) 38件) 景観まちづくり協議会の設立に向け、横町町内会、横町商店会に対し説明会を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		景観まちづくり協議会の設立に向けた取り組みでは、地元か道路整備により現在の街並みが大きく変わるため、整備後の町の様子がイメージできないとの声があった。具体的な検討ができるよう、完成予想図等を使用しながら引き続き検討していく。	
状況を示す写真や資料等			
景観計画重点・推進区域図			
3 景観まちづくりについて 景観まちづくりの意義と魅力 1・身の回りの心地よさをつくりだす 身近な空間の見え方や印象を美しく快適に整える景観まちづくりを通して、身の回りの心地よさが得られます。 2・まちの個性を育む 歴史的・伝統的な景観の保全や、まちの新しい魅力をつくる景観まちづくりは、わがまちらしさ・まちの個性を育みます。 3・地域の課題改善に役立つ 地域の活性化、コミュニティの育成などの地域の課題改善にも、景観まちづくりは役立ちます。 4・まちとくらしに愛着と誇りがもてる 景観まちづくりを通して、自分のまちや暮らしの良さに気付く、愛着や誇りを育てようとなります。		4 周辺地域の事例 白河城下景観まちづくり協定 沿線の美しい景観維持のため、これだけは守りましょう、という内容です。	
まちづくり協議説明会資料		まちづくり協議会事例紹介	

評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	

屋外広告物について	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------	---

計画に記載している内容
 屋外広告物については、屋外広告物法及び福島県屋外広告物条例に基づき無秩序な表示や設置を防ぐ美観・風致の維持、良好な景観形成への寄与等のため規制を行っている。平成12年には屋外広告物の許可申請事務等について白河市に権限が委譲されているが、今後は、景観計画に基づき白河市独自の屋外広告物条例の制定を検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

屋外広告物法及び福島県屋外広告物条例に基づき、屋外広告物の設置に関して適正な規制及び誘導を行い、美観・風致の維持及び良好な景観形成に努めた。

○平成26年度許可件数:240件(新規 32件、更新 197件、変更 11件)

白河市独自の屋外広告物条例の制定に向け、屋外広告物の実態調査を実施し、現況及び課題を把握するとともに、屋外広告物に関する市民アンケート調査を実施し、市民意向の把握に努めた。また、白河の魅力をもっと高めるための屋外広告物のあり方について考え、独自の屋外広告物条例の制定に向けた検討を行うための「屋外広告物のあり方検討懇談会」を設置し、5回の会議を開催した。

なお、条例は平成28年4月の施行を予定している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



屋外広告物のあり方検討懇談会

【屋外広告物のあり方検討懇談会委員構成】

No.	所属等
1	東北芸術工科大学 建築・環境デザイン学科
2	白河市景観審議会
3	福島県屋外広告美術協同組合白河支部
4	白河市商店会連合会
5	NPO法人しらかわ建築サポートセンター
6	NPO法人子育て環境を考える虹の会
7	Ust白河
8	市民公募
9	市民公募
10	福島県土木部都市計画課

■屋外広告物のあり方検討懇談会

平成25年度

第1回 平成26年3月24日開催

○協議事項

- ・(仮称)白河市屋外広告物条例の制定について
- ・今後のスケジュールについて
- ・屋外広告物に関する市民アンケート調査結果について

平成26年度

第2回 平成26年7月18日開催

○協議事項

- ・屋外広告物の現地調査
- ・現地調査を踏まえての意見交換

第3回 平成26年9月19日開催

○協議事項

- ・屋外広告物の特性・課題について
- ・規制誘導の方向性について

第4回 平成26年11月11日開催

○協議事項

- ・ここまでの検討内容と今後の取り組みについて
- ・地域の特性に合った規制・基準の検討について

第5回 平成26年12月22日開催

○協議事項

- ・屋外広告物の区域別基準について
- ・条例制定の方針について

第6回 平成27年3月20日開催



○協議事項

- ・屋外広告物の区域別基準について
- ・条例制定の方針について

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
小峰城跡本丸・二の丸石垣修復事業(小峰城跡災害復旧事業)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～		
支援事業名	史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業補助金		
計画に記載している内容	平成23年度・平成24年度は、東日本大震災により崩落した石垣の記録化や石材の撤去作業を行いながら、崩落原因の究明と修復方法の検討を行った。平成25年度以降については、検証結果をもとに順次崩落箇所の修復を計画的に行っていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
東日本大震災により崩落した石垣のうち、本丸南面、清水門跡、搦手門跡の石垣積替え工事、および三重櫓、前御門の修復工事が完了した。竹之丸南面、帯曲輪門跡、帯曲輪西面の石垣修復工事に着手した。本丸西・北面、帯曲輪西・北面、東側丘陵北面の修復に向けた設計と地質調査を行った。修復工事では、市内の石工職人等も作業に参加し、石積み技術者の育成に努めている。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		石垣の修復にあたっては、伝統工法による技術研究も課題となっており、専門家で構成する石垣検討委員会の指導助言を得ながら、修復技術の検討を行っている。	
状況を示す写真や資料等			
			
		本丸南面石垣積替え作業	
			
本丸南面積替え作業終了状況		石垣積替えシミュレーション作業	
			
地質調査		石垣検討委員会	

評価軸③-2 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
歴史的まちなみ修景事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	良好な町並み景観の保全を図るため、景観計画に基づき「景観形成ガイドライン」を策定し、これに基づく建造物の修景等に対する支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成23年度に策定した「景観形成ガイドライン」に基づき、建造物の外観修景等に対する支援を実施した。 ○対象エリア: 景観形成ガイドラインAゾーン、金屋町谷津田川せせらぎ通り景観協定区域、白河城下景観まちづくり協定区域、門前通り景観まちづくり協定区域 ○補助件数: 8件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
外構の修景(植栽の設置)			
			
施工前		施工後	
外構の修景(白河石の塀設置)			
			
施工前		施工後	

評価軸③-3 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
歴史的風致形成建造物保存修景事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	旧奥州街道や歴史的街路の沿道に所在する歴史的な建造物について、歴史的風致形成建造物に指定し、所有者等が行う建造物の修理等に要する費用の一部を助成し、歴史的建造物の保全と活用を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的風致形成建造物に指定した建造物の修理等に対する支援について、NPO法人しらかわ建築サポートセンター(歴史的風致維持向上支援法人)との連携により実施した。 ○歴史的風致形成建造物指定件数:37件95棟 ○補助件数:5件5棟			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>外壁補修</p>  <p>施工前</p> </div> <div style="font-size: 2em;">⇒</div> <div style="text-align: center;">  <p>施工後</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>外壁・内装補修</p>  <p>施工前</p> </div> <div style="font-size: 2em;">⇒</div> <div style="text-align: center;">  <p>施工後</p> </div> </div>			

評価軸③-4 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
無電柱化調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	旧奥州街道である現在の国道294号は、鹿嶋神社祭礼(白河提灯まつり)の運行ルート、白河だるま市の開催場所等になっているが、電線・電柱類が祭礼時の運営支障及び景観阻害の要因となっている。このため、道路管理者、事業者等と無電柱化に関する調整を図りながら、現況及び整備手法等について調査・検討を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
県および市の関係部署の職員が集まり、「白河市中心市街地における無電柱化勉強会」を開催し、他自治体の取り組みや今後の進め方について意見を交換した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 <p>事業位置図</p>			
 <p>白河提灯まつり運行の支障となっている電線・電柱類</p>			

評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成26年度 現在の状況
無電柱化事業(主要地方道白河停車場線)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成27年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(道路事業)

計画に記載している内容 主要地方道白河停車場線(大手町工区)は、鹿嶋神社祭礼(白河提灯まつり)の運行ルート、小峰城三重櫓を視対象とした視点場となっているが、電線・電柱類により、祭礼時の運営支障及び眺望景観が阻害されている。このため、無電柱化整備を実施する。

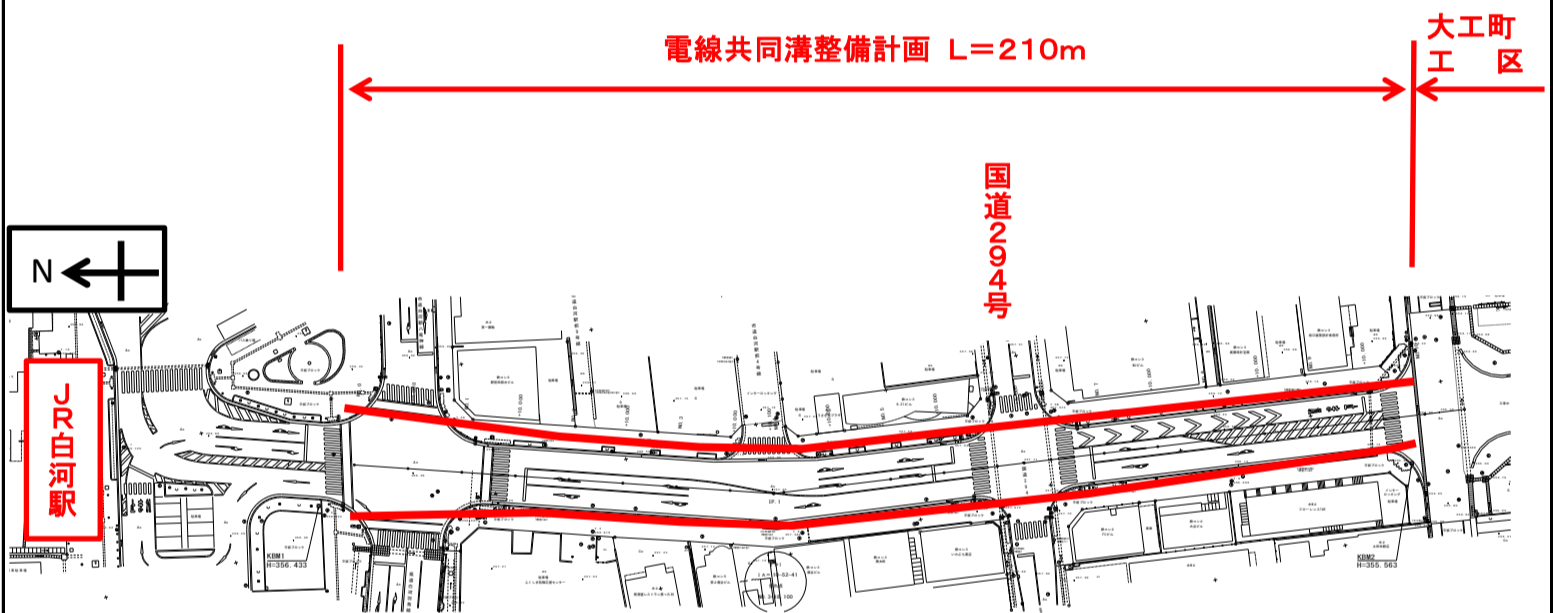
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度:電線共同溝整備に係る測量設計を実施。電線管理者と道路占有者(上下水道、都市ガス)との協議実施。
平成26年度:片側(西側歩道部)について共同溝整備工事を実施(繰越事業:平成27年10月完了予定)。
平成27年度:東側歩道部について共同溝整備工事を実施予定。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



無電柱化に伴う電線共同溝の整備状況



整備前



整備後イメージ

評価軸③-6
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成26年度 現在の状況
旧脇本陣柳屋旅館建造物群整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	明治天皇や新選組ゆかりの歴史的遺産である旧脇本陣柳屋旅館建造物群(歴史的風致形成建造物)について、老朽化の激しい蔵座敷の復元整備に向け、整備後の利活用等の検討を行う。検討結果をもとに、市が土地・建物を取得し、史実に基づき復元整備を行い、まちなか回遊の拠点として活用する。 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		蔵座敷の利活用についての検討を引き続き実施し、地域の活性化に資するものとする。	

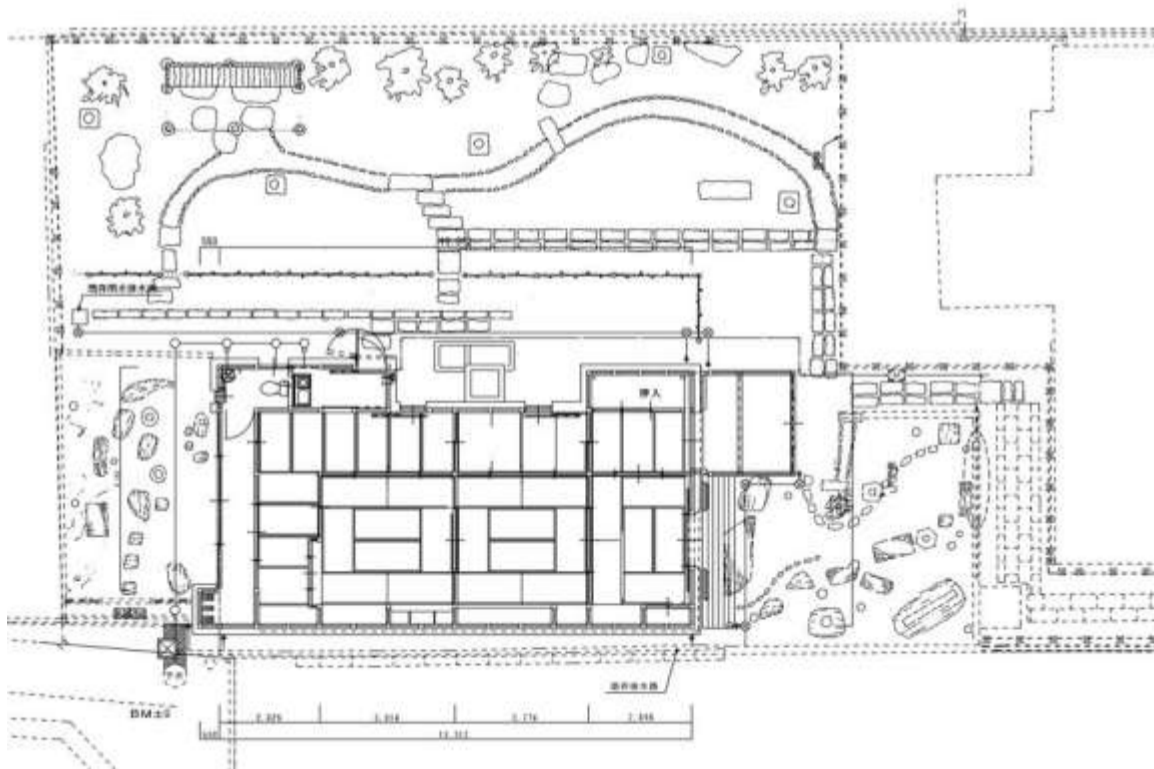
状況を示す写真や資料等



家屋解体前



解体後(写真左が蔵座敷)



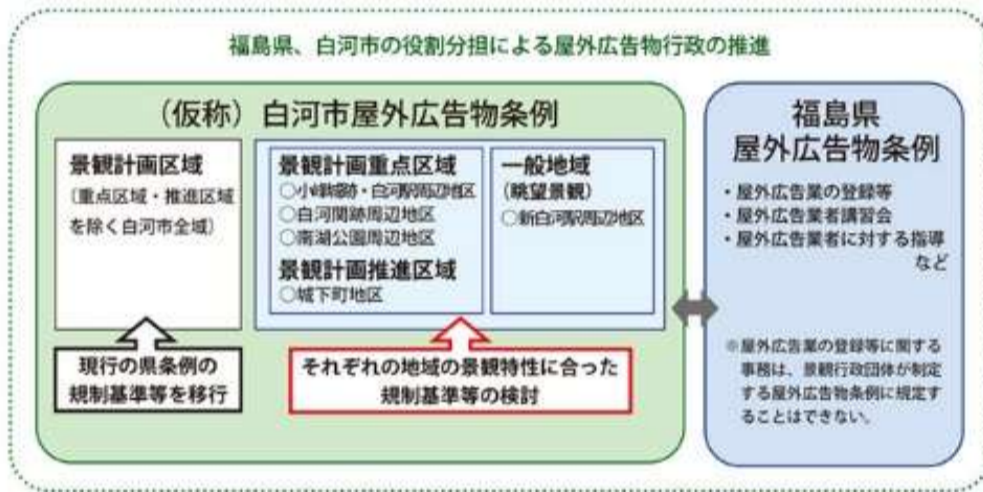
全体平面図

評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

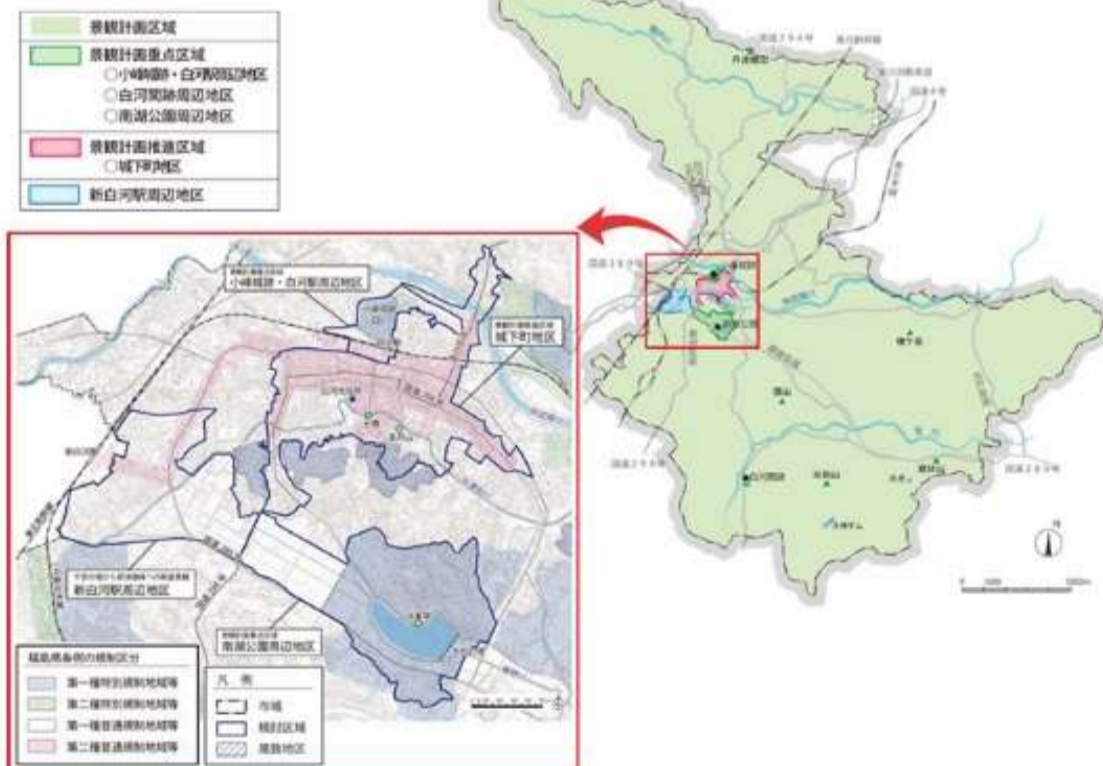
		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
屋外広告物景観影響調査等事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	屋外広告物の表示について、現況調査や影響調査、問題課題の整理、規制のあり方の調査研究、事業者との合意形成活動等を行う。また、本事業により得た成果を反映させた独自の屋外広告物条例を制定するとともに、「屋外広告物表示のガイドライン」を策定する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成26年度は「屋外広告物のあり方検討懇談会」を5回開催し、地域の実情に合った屋外広告物のルールについて検討を進めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

■独自条例のイメージ



■対象区域



評価軸③-8
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成26年度 現在の状況
しらかわ歴史回廊事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	歩行者系誘導サイン、道標等の案内施設整備を行うことにより、まちなか回遊性の向上を図る。まちなかに残る歴史的建造物、歴史的・文化的資源等を結んだ回遊ルートマップ等を作成し、年に数回の散策ツアー等を開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成25年度:既存の街歩きマップ等を基に、関係機関と懇談会形式で検討作業を行い、歩行系誘導サイン設置計画を策定した。			
平成26年度:設置計画に基づき関係機関と設置箇所の詳細及びサインのデザインを協議し、主要箇所に14基設置した(繰越事業:平成27年7月31日完了予定)。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



歩行者系誘導サイン設置計画



ワークショップ



案内板イメージ

評価軸③-9 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
丹羽長重廟周辺整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～平成25年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	丹羽長重廟(市指定重要文化財)を歴史的風致形成建造物に指定し、修復・保存を図る。また、廟周辺の園路の整備や、管理上及び景観上支障をきたしている森林等の間伐を行い、廟周辺環境の整備改善を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成24年度に実施した設計に基づき、廟本体の修復工事を実施した。(繰越事業:平成26年9月26日完了)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 <p>丹羽長重廟(竣工)</p>		 <p>工事の様子(平成25年度) (揚舞・床板等撤去・地覆材交換・柱根継)</p>	
 <p>竣工式(仏事)</p>		 <p>竣工式</p>	

評価軸③-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成26年度
項目		現在の状況
小南湖公園整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～
 支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 白河藩大名家墓所(市史跡)が所在する小南湖の丘陵地について、丹羽長重廟に至る園路の整備や森林等の間伐、湖沼の浚渫等を行い、まちなか回遊の拠点となる史跡公園として整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度:現況把握及び整備手法の検討を行うため、現地測量、植物・水生生物調査を実施した。
 平成26年度:整備設計、用地測量、不動産鑑定、用地取得(一部)を実施した。
 物件調査、湖沼整備(一部)は繰越事業(平成27年5月30日完了予定)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



小南湖全景



用地測量



全体計画図

評価軸③-11
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	
都市計画道路一番町大工町線整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成22年度～平成26年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街路事業)

計画に記載している内容 都市計画道路一番町大工町線(教会坂通り)は、歴史的な町並みを活かして進められている歩車共存道路であり、既に完了している歩行系街路とともに歩行系ネットワークの形成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

金屋町において、石畳舗装の整備を実施した。
 ○平成25年度まで整備延長 : L=701m、平成26年度整備延長 : L=122m、全体整備延長 : L=823m(進捗率:100.0%)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

平成26年度整備延長 L=122m

金屋町工区 L=122m



整備前



整備後(石畳による舗装)

評価軸③-12
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	
都市計画道路乙姫桜プロムナード整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成28年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街路事業)

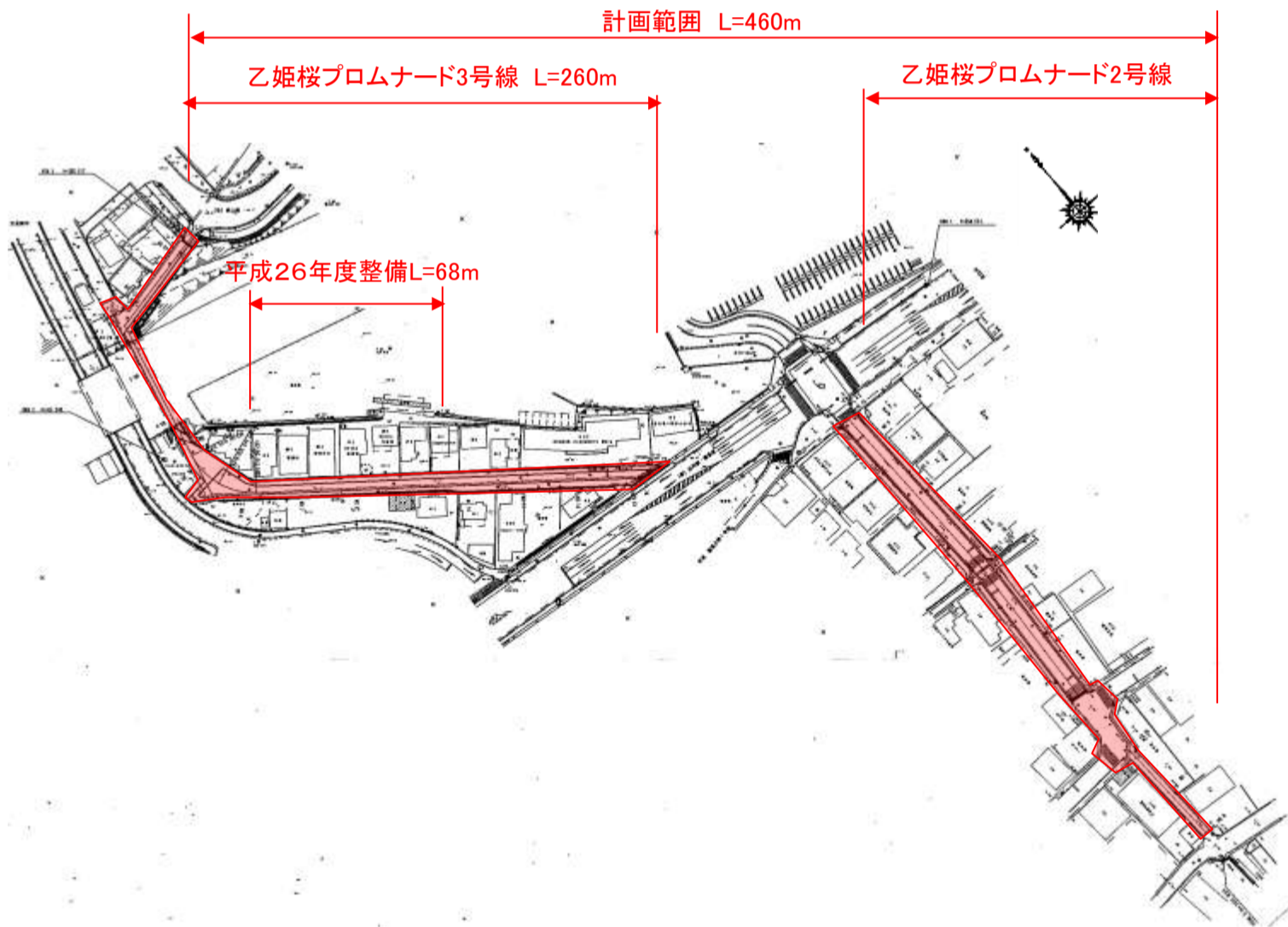
計画に記載している内容 都市計画道路乙姫桜プロムナード2号・3号線は、歴史的な町並みを活かして進められている歩車共存道路であり、既に完了している歩行系街路や現在整備中の歩行系街路とともに歩行系ネットワークの形成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

乙姫桜プロムナード3号線において、景観舗装の整備を実施した。また、乙姫桜プロムナード2号線については、都市計画決定変更を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



評価軸③-13 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
無形民俗文化財活動記録作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	地域に根差した民俗・芸能活動は、住民の生活の一部を形作っていたものであることから、現状での活動内容について、詳細な調査を行い、活動記録の保存を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
民俗・芸能活動について、活動内容の詳細な調査を行うとともに、映像による活動の記録化に着手した。(4団体)併せて、写真による活動内容の記録も行った。(15団体)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		夜間に行われる活動については、機器の精度の問題もあり、新たな記録化の方法を検討する必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>下新城のキウリ天王祭(大信地域)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>白坂八雲神社子供みこし祭り(白河地域)</p> </div> </div> <div style="text-align: center;">  <p>梁森盆踊り(表郷地域)</p> </div>			

評価軸③-14 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
しらかわ無形民俗芸能等支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成21年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	無形民俗文化財の保存団体等を対象に、民俗芸能等に用いる用具類の新規購入や修繕、行事の実施公開に対して財政支援を行うとともに、本事業を周知し、支援団体の拡充を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
無形民俗芸能等活動は、後継者不足が加速し活動停止となる事例が増加しているため、申請に基づき調査を行い、道具等の補修・購入や活動の財政的支援を行った。(13団体) また、戦前から受継がれている山車・屋台を展示収納できる会館を整備するため、整備事業費の一部を補助した。(1団体)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>十日市ちょうちん祭り(大信地域) 十日市町内会: 行事实施・公開</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>大和田の子安講(白河地域) 大和田長寿会: 太鼓の補修</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>中新城の盆踊り(大信地域) 中新城町内会: 行事实施支援</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>大工町の山車会館建設(白河地域) 大工町自治会: 白河市無形民俗芸能等支援事業</p> </div> </div>			

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況

白河歴史教科書作成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-------------	---

事業期間 平成24年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業と一体の効果促進事業)

計画に記載している内容 白河の歴史と伝統に対する正しい理解と郷土愛の醸成を図るため、歴史の手引きの製作を行う。さらには、「(仮称)しらかわ検定」の開催を目指す。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

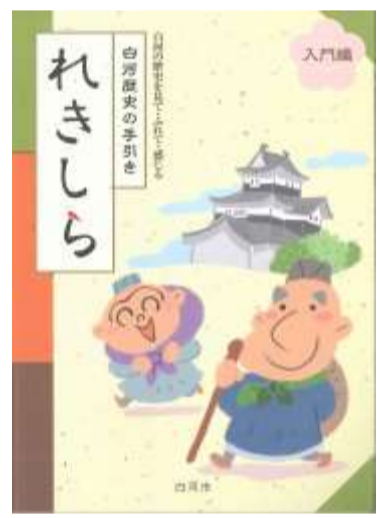
白河歴史の手引き「れきしら」入門編を有料販売することにより周知を図った。また、市内の小学校2年生から中学校2年生を対象に行われている「白河の歴史・再発見！事業」においても「れきしら」を活用し、白河の歴史と伝統に対する正しい理解と郷土愛の醸成を図った。
さらに、入門編を年代順に詳しく補足するものとして、白河歴史の手引き「れきしら」上級編を作成した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

■白河歴史の手引き「れきしら」入門編販売実績
 ・販売数:200冊(平成26年度)



平成24年度作成 白河歴史の手引き「れきしら」入門編



平成26年度作成 白河歴史の手引き「れきしら」上級編



「れきしら」上級編 記事の一部(近世)



評価軸③-16
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	
ぐるり白河文化遺産めぐり事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成21年度～
支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域の歴史的・文化的資源の価値を再認識する機会を創出するため、城下町ゾーンの寺社を中心に、あわせて歴史的・文化的資源をチェックポイントとするスタンプラリーを開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

ぐるり白河文化遺産めぐりスタンプラリー期間中、オリジナルの図柄のスタンプを寺院等に配置し、春は座禅・写経体験及び桜の名所と石垣修復中の小峰城を見学するツアーを開催した。秋は戊辰戦争ゆかりの地と紅葉の名所を巡るツアーを開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	寺院を巡る際の「御朱印」記帳については、各寺院の足並みが揃っていないことから、関係機関と調整を図る必要がある。

状況を示す写真や資料等



ぐるり白河文化遺産めぐりスタンプラリー台紙



石垣修復中の小峰城を見学



新撰組隊士も宿泊した旧脇本陣柳屋旅館を見学

《ぐるり白河文化遺産ツアー「座禅・写経体験コース、桜の名所と小峰城コース」》

- 開催日:平成26年4月19日(土)
- 参加者数:63名

《ぐるり白河文化遺産ツアー「戊辰と紅葉巡り」》

- 開催日:平成26年11月8日(土)
- 参加者数:21名

《ぐるり白河文化遺産ツアーアンケート集計結果(抜粋)》

- 参加した感想:良かった98%、分からない2%
- 自由意見:
 - ・小峰城内の見学が予想していなかったので感激。
 - ・知らない事がたくさんありました。白河っていいな。
 - ・白河のことが少し分かった気がする。
 - ・新しい発見がたくさんありました。

評価軸③-17
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成26年度 現在の状況
白河の歴史・再発見！事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	白河の歴史や文化について知識や見聞を広め、興味を喚起するとともに、自分の生まれ育った白河を愛する心を育てるため、市内の小学2年生から中学2年生を対象に、「白河歴史教科書」を活用しながら、白河の歴史や伝統文化について体験的な学習を系統的に行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
白河の歴史や伝統文化等について各学年ごとにテーマを設け、白河茶道連盟、ツーリズムガイド白河、白河語りの会、白河市文化財課学芸員等の協力を得ながら学習を行った。なお、小学校6年生のテーマ「白河の歴史を再発見する」では、平成24年度に発行した「白河歴史の手引き『れきしら』入門編」を活用した。 平成27年度からは、小学1年生から中学3年生まで対象を拡大して実施する。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



「白河の歴史を再発見する」
小峰城石垣修復現場見学(信夫一小6年生)



「白河の歴史を再発見する」
「れきしら」入門編の活用(小田川小6年生)



「伝統文化にふれる」
白河茶道連盟の協力による
茶道体験(白河二小5年生)



「白河の古代を知る」
白河から出土した
土器に触れる
(表郷中1年生)



学習成果を壁新聞に
まとめ、市立図書館に
展示

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
文化財の修理(整備を含む)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財の状況を常に把握した上で、法令に基づき適切な保存を図るとともに、計画的な修理・整備を行う。また、専門的な指導・助言を得ながら、文化財が持つ歴史的価値の保持に努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
国指定史跡「小峰城跡」の石垣積替え工事を実施した。(5頁参照) 市指定史跡「天神山(附)天神神社」について、倒壊した石造物と参道石段の修復について支援を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
「天神神社」の修復			
			
修復前		修復後	
			
修復前		修復後	

評価軸④-2
文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成26年度
項目	現在の状況	
文化財の保存・活用を行うための施設	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 文化財の保存・活用を行うための施設として、歴史民俗資料館、集古苑を設置しており、収蔵史資料の調査分析、保存及び公開を行っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史民俗資料館では、常設展示とともに2回のテーマ展を開催した。また7月より常設展示を拡大・リニューアルし、「白河の歴史と文化」として、白河の歴史と文化を通史的に学べる展示とした。集古苑では、特別企画展「再興第98回院展内閣総理大臣賞受賞記念 今井珠泉展」を含め、企画展・テーマ展を計7回開催した。また、テーマ展や企画展にあわせ、展示解説会を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

■歴史民俗資料館

企画展示室

展示内容	会期	解説会	
常設展示室 白河の歴史と文化	テーマ展 むかしの暮らしと道具	2/7(金)～4/13(日)	○
	テーマ展 風景を描く	4/25(金)～6/15(日)	○
《常設展示》 白河の歴史と文化	7/19(土)～3/31(火)	○	

■白河集古苑

展示内容		会期	解説会
結城家古文書館	阿部家名品館		
重要文化財 白河結城家文書と 中世の美術	企画展 桜・さくら	3/27(木)～5/11(日)	
	阿部家伝来の遺宝と武家の装い	5/23(金)～7/13(日)	
	譜代大名阿部家 特集展示 小峰城絵図の世界	7/17(木)～8/24(日)	
特別企画展 再興第98回院展内閣総理大臣賞受賞記念 今井珠泉展		9/11(木)～11/9(日)	○
重要文化財 白河結城家文書と 中世の美術	阿部家伝来の遺宝と吉祥の美術	11/20(木)～H27.1/18(日)	
	阿部家伝来の遺宝と茶道・調度	1/22(木)～3/22(日)	
	企画展「桜・さくら」	3/26(木)～5/10(日)	

■来館者数(平成27年3月末現在)

○歴史民俗資料館 3,177人
○白河集古苑 10,039人



リニューアルした常設展示「白河の歴史と文化」



今井珠泉画伯による展示解説会
(「再興第98回院展内閣総理大臣賞受賞記念 今井珠泉展」)

評価軸④-3 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
文化財の防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財防火デーに併せた火災防御訓練の実施や訓練への住民参加に積極的に取り組み、所有者のみならず周辺住民の文化財防災に関する意識向上を図る。また、盗難に対する施設内の設備の現状確認を実施し、盗難予防に対する意識付けを強化していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財防火デーに併せ、県指定重要文化財(工芸品)「熊野神社御正体六面」を所有している熊野神社において、火災防御訓練を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		所有者や地域住民と連携して、さらなる防災体制の強化に努める。	
状況を示す写真や資料等			
			
文化財防火デー (平成27年1月26日:熊野神社)			

評価軸④-4 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	平成26年度
項目		現在の状況	
文化財の保存及び活用の普及・啓発		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財を広く市民へ公開し、文化財保護精神の普及・啓発を図るため、ホームページを通じて指定文化財を分かりやすく紹介するほか、文化財の誘導・説明板の設置を進める。また、出前講座や各団体の学習会等に積極的に講師派遣を行うなど、文化財に対する知識・理解の高揚に努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
東日本大震災により崩落した小峰城跡の石垣修復に対する理解や関心を深めるため、工事の進捗状況や小峰城跡の様子などを一般公開した。(10回開催) 市内の小・中学校で実施している「白河の歴史 再発見!事業」において、小峰城跡災害復旧現場の見学および白河集古苑の展示解説を行うとともに、出前講座に文化財課職員を講師として派遣し、文化財の普及・啓発に努めた。 中央公民館主催事業「文化財教室」において、文化財についての学習や史跡巡り等を実施し、文化財の普及・啓発に努めた。(8回開催)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		本丸および三重櫓は平成27年4月より一般公開を再開できるため、あわせて石垣修復現場の公開方法について検討する必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
		○小峰城跡災害復旧事業 一般公開参加者数 平成26年 4月19日(土) 2,280名 (小峰城さくらまつり) 4月20日(日) 2,317名 (小峰城さくらまつり) 5月18日(日) 204名 6月1日(日) 166名 6月15日(日) 193名 7月6日(日) 404名 (石垣イベント) 7月20日(日) 186名 8月17日(日) 215名 9月7日(日) 147名 12月7日(日) 213名	
小峰城跡石垣修復イベント (平成26年7月6日)			
			
白河の歴史 再発見!事業 「小峰城跡本丸南面石垣復旧工事見学」 (白河一小6年生)		文化財教室「白河地区の古墳めぐり」 (平成26年6月13日開催)	

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
小峰城跡・JR白河駅周辺地区 「都市空間部門優秀賞」に	H26.5.13	福島民報
小峰城跡・白河駅周辺地区 都市景観大賞で優秀賞	H26.5.13	福島民友
小峰城跡・白河駅周辺地区 都市景観大賞優秀賞に	H26.5.14	福島建設工業新聞
歴史的なまちづくり先進事例通じ考える 白河で東北担当者会議	H26.6.13	福島民友

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画に基づき実施した「小峰城道場門遺構整備事業」を含む「小峰城跡・白河駅周辺地区」が景観大賞都市空間部門で優秀賞受賞。東北地区で初開催となる「歴史まちづくり担当者会議」の実施状況等が新聞に掲載され、歴史まちづくりに対する関心が高まった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	地元の歴史・文化に対する正しい理解と郷土愛の醸成を図るため、新聞等のメディアを通じて歴史まちづくりの取組みを積極的にPRする必要がある。

状況を示す写真や資料等



平成26年5月13日 福島民報



平成26年6月13日 福島民友



平成26年5月13日 福島民友

評価軸⑤-2
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
石に復興の願い込め 白河の小峰城でイベント	H26.7.8	福島民報
丹羽長重廟の修復完了 白河 歴史的街並み保存	H26.10.4	福島民報
丹羽長重廟の修復完了 白河 関係者出席し記念式典	H26.10.4	福島民友
石垣の修復作業完了 小峰城本丸南 7日に一般公開	H26.12.5	福島民友
震災で崩落小峰城跡の石垣 修復の本丸南面公開	H26.12.8	福島民報
小峰城跡「白河の象徴」 修復完了の本丸南面公開	H26.12.8	福島民友

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画に基づき実施した「丹羽長重廟周辺整備事業」の実施状況等が新聞に掲載され、歴史まちづくりに対する関心が高まった。また、歴史的風致維持向上計画の核となっている史跡「小峰城跡」について、石垣修復に関する話題等が新聞に掲載され、小峰城跡の復興に対する関心が高まった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし

地元の歴史・文化に対する正しい理解と郷土愛の醸成を図るため、新聞等のメディアを通じて歴史まちづくりの取り組みを積極的にPRする必要がある。

状況を示す写真や資料等

丹羽長重廟の修復完了
白河 歴史的町並み保存

白河市指定文化財の「丹羽長重廟(ひよんぐら)」の修復工事が完了し、10月4日に一般公開された。この日は市内の明寺の同所で行われ、約180人が参加した。初代白河藩主丹羽長重の霊廟(れいびよんぐら)は老朽化が進んでいたため、市が歴史的な町並みを保全する「市歴史的風致向上計画」に基づき、平成二十四年度から土台や柱などの改修を進めてきた。式には約40人が出席した。鈴木和夫市長は「霊廟を町づくりの象徴としていきたい」とあいさつ、安辺英明

国土交通省東北整備局長、須藤博之市議会議長が祝辞を述べた。丹羽家十八代目の子孫に当たる長聡(ながとし)さん(50)は「京都は『改修していただいていたが、市民の憩いの場として役立ててほしい』と話している。

修復工事を終えた丹羽長重廟

平成26年10月4日 福島民報

震災で崩落 小峰城跡の石垣 修復の本丸南面 公開
白河

歴史ファン次々来訪

東日本大震災で石垣が崩落した白河市の国史跡・小峰城跡で7日、石垣の積み上げ作業を終えた本丸南面が一般公開された。修復の進み具合を知ってもらう一日限りの公開で、市民や歴史ファンらが次々と訪れた。

小峰城跡は震災で計(お)は「歴史ある建造物」約七千個の石物を修復し、大切にしたいという姿勢が崩れた。市は石を可(た)いこうという姿勢を再確認し、伝(つ)を感じたと話している。

三重櫓(やぐら)や清水門石垣、前御門の修復は今年度中に終わらせ、平成二十七年の早い時期に震災前と同様に開放する。全て石垣積み上げは二十九年を終了を目標としている。

震災前と同様に積み上がった石垣を見る市民ら

来場者は再び積み上がった石垣を感慨深げに見上げた。宮城県女川町から訪れた女性

平成26年12月8日 福島民報

評価軸⑥-1
その他

評価対象年度 平成26年度

項目

白河まちなか歴史景観「蔵ウォーク」の開催、景観まちづくりシンポジウムの開催

計画に記載している内容 なし

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

《白河まちなか歴史景観「蔵ウォーク」》
白河に残る歴史的な建物やまちなみなどの歴史資源を広く公開し、身近な資源を活かしたまちづくりへ繋げるため、白河まちなか歴史景観「蔵ウォーク」を開催し、歴史的建造物の修理事例や周辺に残る歴史資源を紹介した。(平成26年11月8日(土)参加者27名)
《平成26年度景観まちづくりシンポジウム》
景観を守り、育て、将来に向けてより美しいふるさと白河を築き、地域の活性化に繋げていくため、「景観まちづくりシンポジウム」を開催した。(平成27年1月25日(日)来場者150名)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり
 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

《白河まちなか歴史景観「蔵ウォーク」》



修復が完了した丹羽長重廟を見学



上の片野屋建造物群(歴史的風致形成建造物)を見学

《平成26年度景観まちづくりシンポジウム》



第1部 基調講演「景観まちづくりと屋外広告」
東北芸術工科大学 デザイン工学部
建築・環境デザイン学科 教授 山畑信博 氏



第2部 パネルディスカッション
「賑わいのある美しい景観を作り出すために」
～景観・屋外広告で地域の魅力を高めていく～

評価軸⑥-2 その他		評価対象年度	平成26年度
項目			
東北歴史まちづくりサミット2014の開催			
計画に記載している内容	なし		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
東北ブロックの歴史的風致維持向上計画認定都市の首長が集まり、各市の取り組みや今後のあり方等について情報共有を行う「歴史まちづくりサミット」が弘前市で開催された。白河市では、歴史・伝統・文化を活かしたまちづくりとして取り組んでいる歴史的資源の整備や建物の修景などの事例を紹介するとともに、歴史まちづくりとともに市のまちづくりの柱となっている中心市街地の活性化および景観まちづくりについての取り組みを紹介した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			

項目

広報紙での歴史と伝統を活かしたまちづくりの紹介

計画に記載している内容
なし

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

市発行の広報紙「広報白河」において、「れきしら広報白河編」を半年間連載。
白河歴史の手引き「れきしら」の内容を基に、市内に残る歴史的資源や取り組みについて紹介した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



広報白河1月1日号

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称: 白河市歴史的風致維持向上計画協議会

会議等の開催日時: 平成27年2月25日(水)午前10時30分～午後0時30分

(コメントの概要)

○取り組み全般に対するコメント

・計画事業の進捗について、計画に位置づけられている事業が全て実施(一部完了)されており、各事業の内容も概ね適正に進められている。

○進捗評価シートに関するコメント

②-2景観計画の活用

・景観計画や条例も含めた景観に関する諸施策が、供用開始になって3年が経過し、様々な運用が始まっているが、特に景観の設計指針のように、ある種規制的な内容を含む仕組みのものについては市民や利害関係者や専門家、設計者の方も含めて、十分な理解を得ることと、もし日常的な中で見直した方がいいものがあれば、暫時見直していくことが肝要である。

②-3屋外広告物について(市の独自条例策定に向けた取り組み)

・京都では国内だけでなく、世界的にも一番厳しい基準を持っている。これは白河にも求められるものだと印象を受けた。大変だが、我々もハードル高く設定したところで考えていかなければと感じた。厳しい基準の基で、第一印象の良いまちなみになるのが望ましい。

・今進めている白河の歴史まちづくりの観点から見たときに景観や屋外広告物の望ましい方向性について、課題として将来出てくるであろう諸問題について、事前に避けられるようなものはできるだけ避けていくという方向性で検討がなされている。

・屋外広告物については使い方次第で賑わいのある良好な街並み景観の形成にも役に立つ場合もあるので、そういう意味ではむしろエリアごとに、屋外広告物を使った賑わいや都市的な文化を感じられるような景観を維持する取り組みもぜひ検討に加えていただきたい。

③-2歴史的まちなみ修景事業、③-3歴史的風致形成建造物修景事業

・店舗から事務所や住宅など、用途が大きく変わっていくときは今まで慣れ親しんだ景観が大きく変わることになる。また、歴史的風致建造物でないものは現代的な建築のデザインになりつつあるが、ガイドラインは、最低限こういうことは気にしてくださいというものなので、必ずしも万能ではない。ガイドラインさえ守っていれば良いまちなみになるかというそういうわけではない。いいものを造るためには設計者、事業者、地権者の協働が大事で、そのところのガイドラインを實際運用する協議、相談段階の中身が大切である。それはとりわけ町屋型ではないものに用途が変わっていくときに注意をしなければいけない。そのところは多分どこの町でも苦労しているところだと思う。景観設計指針とガイドラインを持っている自治体はたくさんあるが、それぞれが課題を抱えていて、ガイドラインだけを守っていても良いまちなみにならないことがあるので、そこで協議をどう進めるのかということが非常に大事で難しいところである。

(今後の対応方針)

・屋外広告物条例の策定に向け検討の中では、景観計画重点区域や南湖千世の堤から那須連邦に向けた眺望景観等それぞれの景観特性に合わせた基準を設けるべく検討を行っていく。また、規制のみでなく、良好な景観形成に向けての指針となるガイドラインの策定についても引き続き協議し、今後それらの有効性が発揮できるよう市民、設計・施工の事業者や景観まちづくり協議会等にも広く周知を行う。

・歴史的まちなみ、歴史的風致形成建造物修景事業については、歴史的風致維持向上の認定の団体の建築サポートセンターや担当窓口において、相談や事前協議の仕組みを活用し、運用の中で良好な街並み景観の形成に向けた誘導ができるよう工夫をしていく。

また、景観ガイドラインの策定から3年が経過しているため、実情にあわせた見直しや改善などを行う。